明治四十一年十二月二十日第三種郵便物認可　(日刊)月曜及祭日の翌日休刊　明治四十三年三月十日(木曜日)　第三百五十四號　(一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

京城居留民團公文

京城居留民團告示第一號
本團區域内ニ居住スル者ニシテ明治三十六年四月ヨリ明治三十七年四月一日ニ至ル間ニ出生シタル兒童ハ來ル四月一日就學ノ始期ニ達スヘキニ付該兒童ノ保護者ハ三月二十日迄ニ入學願ニ戸籍謄本ヲ添ヘ當民團役所ニ提出スヘシ
明治四十三年二月十九日
京城居留民團民長　古城管堂

雜報

關税ご對韓關係

韓國の司法權を日本に收め、日本の裁判官を以て日本の裁判を半島内に行ふこととなりたる以上、韓國は日本と同樣、治外法權の撤去を關係列國に得べき筈なれども、其事未だ行はるゝに至らず。之に就て政府の當局者は如何なる心算を有するにや、帝國議會に於ける質問答辨中、吾人は未だ聞く所あらざるなり。同じく韓國と列國との關係上、通商航海條約を如何にす可き乎、又隨つて關税問題を如何にす可き乎、既に我日本が韓國の外交權を代表し居る以上、恰も我本國の條約改正期に臨み、關税定率の事を議會にかけ居るに際し、必ず考慮せざるを得ず、若も列國が日韓兩國の純然たる合併を承認するにも至らば、自然の結果として、我日本と列國との將來の通商航海條約が齊しく韓國にも行はる可く、治外法權問題も又關税問題も隨つて自から解決せらるゝに至る可きが、未だ其場合に至らざる中は、順序として各別に解決する所あるを要す、而して其解決が列國の合併承諾の前提と爲るの關係をも生ず可し、いづれにしても忽せにす可らざるものなり。治外法權撤去の事は既に本欄に於て幾度も論及したる所あるが故に復言はず。關税に就きても吾人は曾て日韓關税同盟の事を言ひたる事あれども、今は既に六七年以前の事にして、今日に於ては同盟以外の他の密接の關係成立し居るを以て、日韓同一の條約に由り、同率の關税を韓國諸港に取りたきは勿論なれども、差當りては、日本が外ならぬ韓國に對して今他の列國と同樣の關税を拂ひ、又韓國をして日本に對し是も他國と同樣の關税を拂はしむるが如き、寧ろ馬鹿々々しき不利不便を一掃せんことを欲せざる能はず。即ち手短に言へば、日韓兩國間には全くの無税にて輸出入を行はんことを欲せざる能はず。他國の對韓最惠國條款も、又機會均等の約束も現在日韓の新關係の成立と共に消失し居る可き筈なるを以て、日韓間の此新施設は、何の障碍も無く行はる可きにあらずや。既に幾度も述べたるが如く韓國の貧乏は、農産國としての其唯一の產物たる米穀に對し、日本が今に猶ほ英領印度佛領印度の米穀と同樣の關税を賦課し、之を排斥し居るに由り、實る能はず備くる能はざるに原因す、而して京城の白米は今日一升十錢内外なり、而して朝鮮米の日本輸入は、いつも英領印度、佛領印度の下に在るを常と爲す。日本品の對韓輸出も、若し嚴格に關税を賦課せらるれば、非常に困らざるを得ざれど、これは實際に於て左まで困らざるを得るの事情あるに由り、多く苦情を聞かざる譯なるが、さて其事情は何如なる事情なる乎と問はるれば、餘り聲高く說明す可らず。此の如き現狀は、宗主國の保護國待遇上より觀るも不公平なり不都合なり、必ずや改むる所なかる可らず。保護國の保護は、凡ての保護主義中に於て、最も心を用ひざるを得ざるものと知る可し。議院の關税論に於て、保護主義の流行甚だしからんとするに際し、吾人は保護國の保護に就て、其親切なる考慮を乞はざるを得ざるなり。韓國の政事家等は、今も合邦論に就て種々の主張を爲し居るもの〻如くなるが、合邦したりとて、韓國が俄に富む可きにもあらず、只日本が今よりも多く政費を半島に注ぎ込まざるを得ざる事となるだけ其だけが彼等の富ともなる可きが、今日の日本の大藏省には大なる餘裕は有らざるなり。韓國をして自ら富ましむるに如かず(東朝)

五學會の請願(二)

(俵學部次官の談)

私立學校の現在數は目下の國狀に照して餘りに多きに過ぐるの感あり此等に對し一々相當の補助を與ふるが如きは到底國費の堪へ得るところに非ず此等の根本的解決の方法として當局者の希望は韓全國に義務教育を布かんとするにあり日本に於ける就學兒童は現今百分の九十七にして最近の統計に徵すれば小學校の維持經營に費すところ一年約三千七八百圓を計上せり而かもこれ國費に非ず府縣費に非ず最下級の行政團体たる市町村の負担に屬す今假りに韓國民を一千萬乃至一千二三百万と假定して日本に比し約四分の一の人口也故に韓國に日本と同等の教育機關を設備するとせば爰に年々九百万圓の費用を要する次第也國費の總額が一千萬圓に過ぎざる韓國に於て九百萬圓を單に教育費中の小學校維持費のみに充つるは到底企及す可からざるところ也故に今假りに就學兒童を百分の五十に限定するも尚且つ四百五十萬圓を要す國費の半ばに達せんとするこの巨額を小學校維持費に充用するはこれ又不可能事に屬する事呶々を用ひずして昭らか也

賊徒討伐の其後

京義線襲來賊徒追擊は爾來各憲兵分遣隊聯合して續行中なるが賊は黃海道方面の民家に隱遁して巧みに蹤跡を晦まし又土民等も之を庇ふの形跡ある爲め搜索頗る困難なるが如し今其後還したる報告によれば三日海州分遣隊は海州郡彌勒面上一里内洞に於て賊二十四と衝突し之を潰走せしめ四日亦同郡高山面高山洞に於て賊三と衝突其一を逮捕し六日京畿道楊州憲兵分遣隊は楊州郡檜巖面檜岩里に於て賊九と衝突之を潰走せしめ雜品若干の鹵獲ありし等の小衝突のみなりき

●水產試驗場に就て

朝鮮海水產組合より釜山に水產試驗場を設置せんことを建議する由は既報したるが之に就き庵原漁政課長は大要左の如く語れり

朝鮮海の水產事業を發達せしむる爲めに水產試驗場を設置する必要はありと雖も其位置を釜山に限るが如きは當を得たりと云ふ可からず之を日本に觀るも海岸を有する府縣には各水產試驗場の設置あり今韓海の漁業を指導し發展せしむる目的を以て水產試驗場を設置せんとするときは少くとも東海區、南海區、西海區に各一箇所の試驗場を設置するにあらざれば其目的を達すること能はざるべし而して之を設置するには約三十萬圓の經費を要す是れ韓國の財政現狀に於ては殆んど不可能なりと信ず水產局としては水產事業を發達せしむる爲めに漁政上のことのみならず財政の許す範圍に於て極力盡しつゝあり故に水產試驗場の必要を認むると雖も不足の經費を以て實用に適せざる形式的の試驗場を設置するが如きは寧ろ不急の事業と見て可なるべく試驗場を設置する以上は魚族、漁具の試驗は勿論猶は進んでは漁業の指導、漁場と漁具の關係等凡そ漁業水產に關することは一切之を掌握する程の規模あるにあらざれば不可なり云々

●韓國製造ご補助金

韓政府は過日解散して韓國製造合資會社に合併せる南韓製造會社の既定補助金千圓を更に增額し明年度迄二千圓宛の年額を補助するに決定したり

日本銘刀傳

第六十三席　邑井一講演

そこで宇治左大臣賴長卿は格別に御滿足、御目出度き上田庄司は、それがために此度の一件を申し上げまして、そこで誠に左大臣殿御仁心厚きれ方で在せられたから、夫れゆゑに何うか祐實を御番鍛冶にしてやりたい、とそこで万里小路大納言に御內意を下し給ふ、此万里小路樣と宇治樣とは大層れ交情が宜い、其のうちに愈々當日が定つて、何れも精進潔齋して備前、豐前、山城、大和皆刀劍を打つて出す者が二十三振、其の內から選むのだ、所が祐實も一生懸命、新藤五國廣と九郎次郎廣光の兩人を、向槌に選して、心を籠めて打ち上げました、鎌倉では秋廣か祐實を以て、御番鍛冶にしたいと祈つて居る、又た死んで祐廣も我が師を以て、御番鍛冶にしたいと云ふ一心である、夫れが途中の變事ゆゑ、魂魄宙に迷つて師匠の身に添ふて打たせたものか、素より名人ではあつたが、其の內にも傑作だ、そこで此時に愈々相州の藤原祐實を以て、御番鍛冶と云ふ命が下る、仙洞の刀鍛冶は殘念に思つたが、何うも仕方がない、朝廷より致して右の御許しでございます、サア相州鍛冶のうちで、大進坊佐慶は己れ祐實ッと目を付けた位、所が惡いことは出來ない誰云ふとなく京都市中に、大進坊の娘の長義と云ふ者が、惡事を働らいた、惡事を働らいたが上京をして御番鍛冶に舉げられるやうでは、精神行正しき者は詰らん話しだと、大きに大進坊の評判が惡くなつて來た、佐慶、長義を呼んで 佐「其の方が己れのことを思つて、祐廣を殺したのは、祐實と誤つたのだ誠に殘念な手違ひだつた、祐實がなければ相州鍛冶では俺だ」と愚痴を言つたが、夫れも六月の菖蒲、十日の菊是非なく致して其の儘に鎌倉を立ち歸る此方は祐實歸りには、最も泊り〱に逗留を致して、市場の布引屋庄兵衛方に立寄つて、戒名を以て鎌倉を指して參る、誠に何うも情けない、然るに鎌倉へもう此のことが先きに達せられた、に依つて、病中であつた九郎三郎秋廣も、是れを聞いて病氣快復だ、所を祐廣の女房させ、此の者は山名藏人の奧を勤めて居りました者で、誠に身の上の確かな相州藤澤の片ほとりなる大盡の娘だ、夫れを藏人から致して、親に懸合つて與れたものだ、十月十日の月滿ちて玉のやうなる男子出生した、產後肥立ちも宜いが、夫の立歸らんから山名藏人樣へ申上げて名前を頂戴する、デ藏人自分の名乘りの元春の春を取つて春太郎と付けて與れた、妻夫の歸りを待つて樂しみにして居る、九郎三郎秋廣より祐廣の死んだことを知らせないから、素より知らない、所へ祐實帶刀こほりなく鎌倉稲村ヶ崎へ立歸つて來る、もう鎌倉の大進坊一家の方では殘念に思つて居る、秋廣祐實の方では途中まで出迎へまして、大した出迎へだ、其の歸つて來た中に祐廣が居ないから、皆が何うしたことかと思つて居る、タガ此の混雜の中だから、強て祐廣のことを問ふ者はない、又た祐實は祐廣の女房に是れを告げるのも、實に氣の毒で話しも致切れんくらゐだ、又た祐廣の女房のさせは子供を抱いて迎ひに出たが、夫は歸らないから、何うしたことであらうと尋ねる、何れ後から歸つて來る、宇治左大臣樣の御屋敷で、上田庄司樣に引留められた、何れ歸るからと言はれた全く此の事と思ふから、さ「アー然うでございますか」祐「然しれ前は男子を生み產後の肥立ちも宜く、誠に母子とも壯健で結構だ」と其の場は濟まして夫れから祐實山名藏人樣へ出で、自分のこと祐廣橫死のことを委しく申上げる、藏人是れを聞いて山「其方が御番鍛冶に擧げられたるは、誠に喜ばしいが、祐廣を失なつたるは折角の我が丹精も水の泡となり、如何にも殘念だ、此の上は其の方何とする了簡だ」と尋ねになる 祐「ハイ私は祐廣の一子春太郎、此の者を成長さして、天晴の名刀鍛冶と致し、私の後目を襲せまして、是れと鎌倉の名刀鍛冶に致す心得、尤も當人成長の後は父の仇討ちをさしてやるの心得でござる、山「尤も然るべきである」と玆で此の春太郎の成長するを待つことになる、何時までも包んでも居られないから、祐廣の妻させへ夫が市場村にて變死の次第を落もなく物語りました。



東京電報

▲三法案悉く可決

關稅法案、韓田整理法案、違警罪即決法は本日下院に於て政友會修正の通り可決されたり(八日)

▲宅地價修正案可決

本日衆議院に於て宅地價修正案は貴族院の修正を可決したり(同上)

▲韓鐵官吏の恩給法

韓國在勤鐵道官吏恩給及遺族扶助案は本日の衆議院に於て委員附托となれり(同)

▲古谷久綱氏の專任

韓太子御用掛を命せられたる古谷久綱氏は願に依り樞密院議長秘書官の本官を免せられ式部官專任となれり(同上)

雜報

林籍調査の着手

農商工部山林局は既報の如く本月より全道の林籍調査を開始する事となり先づ平壤林業事務所管內より着手し更に慶北方面に向ふべく而して之に要する實査員は日本より招聘する由にて目下人撰中なるが決定の上は豫定計劃に基き七組に分ち派出する筈なりと

議會と韓國問題

八日統監府着電せるもの左の如し

本日貴族院に於ける四十年法律第四十四號中改正案の委員會は滿場一致を以て原案を可決せり

衆議院の關稅率法の本會議に於て昨日の委員會の修正案に對し外務大臣の反對意見ありしも結局委員會決定の通り可決せらる

又三十七八年戰功行賞に關し大內代議士は簡單に質問趣意を演說せり

日露連絡の認可

田中滿鐵理事、藤田鐵道理事及び大坂商船の代表者等が一昨年十一月より昨年四月迄約半年間露都に止まりて彼我の間に締結したる日露間旅客の聯車連絡協定に就ては我政府は既に認可を與へたるも露國政府の認可なき爲め今日迄連絡を實行するに至らざりしが愈々露政府にては認可を與へたる旨去る三日後藤遞相の下に電報ありたりと云へば今後日本及び淸韓地方より西伯利亞線を經由する旅客の爲には便利少なからざる可し

官營建築の方針

統監府設置以來同府は固より軍及韓國各部諸廳舍の建築は旺然として勃興し一方民間にありても戰後の餘熱に煽られ自家用及幾千百の借家築造は雨後の筍の如く簇出し爲に一般建築界は官民兩面に亘り頗る多忙を極めたりしも一昨年來度支部は建築所を設け各部各廳舍の建築は同所所管の下に一切官營とし其材料の如きも木材は全部營林廠の供給を仰ぎ煉瓦及瓦も亦た官給の法を講ずる等建築に對する官設事業は殆ど全部民業と手を絶ち一面又た民間建築も一昨年來の不景氣により不振の極に陷り多數建築業者は爲に一大打擊を被るに至りしが當局に於ては最近に至り官業自營は名のみ美にして實利之に伴はざると悟りしの結果一旦の方針を更め再び民間に移さんとするの內議あり併し乍ら其方針は從前の如く徒に競爭入札の舊套を踏まず建築業界に於て資格確實にして誠意ある者を撰び特命の法を採るに至らんか尙ほ駐劄軍に於ても既に業に競爭入札の法を撤し健實なる建築業者を選で特命受負の制を採り居れりといふ

奉天會戰の回顧

大久保大將の談

駐劄軍司令官大久保大將閣下は日露戰役の當時第六師團長として九州の健兒を率ゐ第四軍に屬して出征し各處に轉戰して偉功を樹てられ殊に明治三十八年三月十日振古未曾有の大戰爭たる奉天の會戰に際しては奉天第一の占領者たる名譽を得武勳赫々盛名を世界に馳せ同時に第六師團兵をして驍勇無双の名を擅にするに至らしめたるは世人の熟知する處なるが今や將軍任に韓國に在り第六師團兵亦當年の鬼將軍木越中將統率の下に韓國を守備しつゝあるの時茲に此の紀念日を迎ふ回顧して感慨の深く且つ切なるもの豈將軍のみならんや即ち將軍に請ふて當日戰鬪の狀を揭げ讀者と共に此の一日を追懷に耽らん哉(一記者)

三月十日は征露全軍中各方面に於て夫々偉功を樹てられたるが余も當時師團長の末班に在り等しく陛下御稜威により聊本分を盡すを得倘且つ今日餘命を全ふしあるは名譽にして幸福者たり付ては聊か當時の我戰況を述べ記念日の參考に供せん

三月九日の午後我第四軍(軍司令官は野津大將なり)敵を渾河に壓迫し狀況許さば河北に猛進せんとしつゝありし午後四時頃余は瀧家子附近に前進し敵狀地理の偵察中軍司令官の副官來り曰く司令官は只今張沙木屯に在り急に貴官に面談を要す直ちに來部を乞ふと至れば即ち野津司令官は燒殘せる破屋の一隅に在り幕僚と共に焚き火を圍繞し軍議中大將曰 戰況如何答曰 今日は天候地理敵狀等凡て妨害多く未だ良好の結果を收めず然れども過刻更に兩旅團を前方に推進し下官亦地理偵察の爲め此附近に至れる所なり大將曰 只今大山總司令官より電報に接す曰 奉天西方迂回の軍稍不利の形勢あり敵此機に乘じ大擧逆襲に轉ずる如き事あらば由々敷大事を引起すも圖り難し貴軍は銳意前進し大に戰況の活機を發揚せられたし今や實に危機一髮と云ふ時余は區々の利害得失を考究するの暇なし只前進して敵を河北に驅逐し奉天占領者の先頭たらん事を望む君大に勉めよ余曰 諾奮て實行の任に當らんと直ちに去つて旅團長に電命し夜半迄を期し前面の敵を驅逐せんとす夜十時右翼に前面の戰況可なるも獨り左翼磐盤の敵頑強にして屈せず午後五時より夜十二時に達し未目的を達するに至らず此方面に當る香川旅團は苦戰慘憺を極む余熟考するに右翼方面に在る他の諸團隊は必ず半夜渡河を始むべし果して然らば我師團の不名譽となるのみならず過刻軍司令官に誓言せしことを反古とす今は死すとも默止する所に非ず依て師團の半部を以て前進するに決し香川旅團に左の訓令を傳ふ

四團の戰況刻々我師團の活動を促す余は今より只第十一旅團と野砲兵工兵を率ひて前進す貴官は極力前面の敵を擊退し河北に於て我れに追及せよ

十日午前一時暗中張沙木屯附近を發し揚家屯に至り第十一旅團及特科を率ひ渾河を渡り奉天城東方に繞回し敵を驅逐し十時木廠附近に達す幸なる哉此時取り殘したる香川旅團も苦戰の末目的を達して追及我指揮の下に入り又左翼分遣大隊(隊長は現第四師團參謀長高山氏也)も速かに前進し奉天東門に侵入し敗兵を驅逐し病院を收め全軍の先頭第一として奉天城占領の佳報を來せり余勇躍して直ちに之れを大本營に電報す抑此時の愉快は到底言語に盡す能はざるなり夫より全師團先づ毛家屯に敵の大衆と戰ひ進で魚鱗堡に戰ひ敵を驅逐し其先頭線は奉天を去る北方四里大窪に達するに至れり午後五時頃に於ては全軍等しく前進し茲に希有の大捷を以て奉天大會戰を結了し該戰陸上の大段落を奏せるなり

此日我師團は兵器輜重の分捕品の外約八千人の降伏兵を收めたるが時は恰も午後五時戰我に利あり敵は我師團の爲めに退路の側背を壓迫せられ頗ぶる狼狽して潰走せるのみならず多大の損害を受け累したる死屍散亂せる材料を遺棄し其大部は辛ふじて戰場を脫出したり逃げ後れたる敵約二師團は奉天の北側に在りて斂縱隊となりて北行し更に東北に轉進し來り其正面は奉天街道と三家子とに亘りしが其狀退却を斷念し投降し來るものゝ如くなりしを以て予は副官遠山大尉に露語通譯を附し敵と交涉の任に當らしめ尙萬一を顧慮し騎兵一中隊(實員一小隊計り)に之れが護衛せしめたり然るに敵は遠山副官の接近するや亂射を開始したれば副官天野少佐は傳令衛兵等約二十名計りを同地附近(毛家屯の高地に展開し猛烈なる射擊を爲せり此の時敵の大集團は喊聲を擧げて突進し來りたるを以て遠山大尉及護衛の騎兵に激烈なる白兵戰を交へ又予が左翼隊に命令傳騎に派したる副官青木大尉は歸途此ノ場に遭遇し敵騎と格闘し辛ふじて歸還するを得たり此の時に當り師團司令部は敵を距る西五十米突の近に接し居たれば敵若し突進し來らば予等今日あるを期すべからず然れども敗殘の兵固より戰志無く我小數なる衛兵の射擊に吃驚し最も先頭に在りたる二三百の敵先づ投降したり此際恰も好し後備步兵第二十聯隊の一部毛家屯北方の高地に到着し直ちに戰鬪に加はりたるを以て敵は多大の損害を蒙むり此方面にも亦多數の投降者を收め其數合せて約八千に達せり斯くて奉天第一の占領者たりし名譽を得て軍司令官に對する誓言を實行したる者と感極まり實に涙も出でざりし五年を隔つる今年今月今日の紀念日に當り之を追想すれば覺へず筋肉の振動するを感ずるが如し戰後二日獨逸國のハインリヒ親王殿下我木廠の師團司令部に來臨あり握手しつゝ又令旨を賜はりたりき熊本師團の勇猛なることを豫て聞き居りたるも奉天の戰爭振りで實に其眞價を見認めたりと誠に名譽の至り乍去此師團の全戰役間に於て得たる名譽には九千九百餘名の戰傷者を出したることを思へば亦痛恨の至りにして此記念日には實に喜憂交々至り今昔感に堪ざる也

駐韓軍司令官 大久保大將



祝陸軍紀念日

三月十日と五月廿七日は吾々國民の寸時も忘る可からざる紀念日なり前者は即ち奉天の大會戰、後者は日本海の大海戰當日にして共に繼れ日露戰役の大段落を告げたるの日とす回顧すれば既に五星霜、世界の强大國が夥多の兵數と、精銳なる武器とを加ふるに無限の資力とを備へ戰線を數十里に布き一擧以て連敗の恥を雪がんと期するに似たり我軍又之れと相對峙して戰機を俟つ事實に數月、而かも艦隊は東航を傳ふる事頻々此時に於ける吾國民上下の心痛は殆んど其極に達し、危懼逡巡其業に安んずる能はず寧ろ慘憺たるものありき、而して一度び戰機の熟するや、奮闘追擊四日に涉り茲に空前の大捷を博し陸上に於ける戰鬪の終局を告げたり、嗚呼是れ五月二十七日の大海戰と相俟つて實に帝國を泰山の安きに置き亦以て東洋の平和を長へに維持せるものと云ふべし、何ぞ夫れ此の最大紀念日を祝せざる者あらんや、即ち筆硯を井華に洗ひ茲に祝辭を草す。

●警察醫と地方施療

韓國に於ては未だ醫術の進步せざる爲めアタラ貴重の人命を失ふこと鮮なしとせず韓國政府は玆に見る處あり先年全國に四箇所の慈惠醫院を設置し無料施藥を爲したる處設置地は勿論遠きは數里外の施療を受くる者一日平均百人內外に及び各患者共日本醫術の進步を嘆賞すると同時に醫院を信依するの念を起し其の成績頗る良好にして若し之れを各道到る處に設置するを得ば一は以て人命を救ひ一は以て施設宜しきに感泣し從て我れに尊信の念を抱かしむる者なれども國費の都合は到底之れを許さゞれば之れが補塡の第一上策として警察醫をして各地方を巡回せしめ地方費を以て施藥する時は其の效果必ず見るべき者ありと某當局者は語れり

●電話加入區域整理

從來は單に京城、平壤、木浦として規定したる爲め人口增加し市街發展するに從ひ加入區域の境界明確を缺くに至りしこれが整理の必要を認め各交換取扱局所每に其の所在市街の狀況加入申込者等の所在に從ひ各局所を中心として東西南北の四方面に別ち其の各方面每に城壁地名又は距離を明示し以て一見加入區域の境界を知るに至らしめたり

●教科書取締の困難

學部の檢定に洩れたる教科書は之を用ゐる能はざるべきものなるに關はらず某々宗教學校外二三の私立學校にては排日熱を鼓吹するが如き教科書を讀ましめ學部員の臨校に際しては俄に之れを隱蔽するが如き不都合を爲しつゝあるものあり斯る學校に對しては當局者も其取締に窮し居れりとの說あり

●鐵道工事者と暴徒

韓國に於ける二大鐵道は未だ貴族院を通過するに至らざるも大勢は既に決定さるべき者と看取したる鐵道建設業者近來に至り本國より續々渡來し各關係方面に向ひ運動を試むる者も鮮からず尙は氣早ら連中は線路踏査をさへ企つる者さへあるも何分近來再燃せる暴徒を憚り徒らに焦心せる者多しと

●各教會の秘密嚴守

近時佛國天主教會堂及び救世軍等は嚴に日本人の教會內に入り來るを禁じ從來日本人の信徒には禮拜を許したるに係らず之れをすら嚴禁するに至れるは韓人布教の爲めに採る手段等往々日本人間に洩れ非難攻擊を加へらるゝを避くるが爲めなりぞ傳ふるものあり

●羅南兵營工事進捗

咸北羅南兵營工事は巨額の豫算を計上し繼續事業として經營し來りしも其後如何なる都合にや一兩年來は大に其手を緩め工事捗々しからざりしが本年は四百萬圓の工費を見込み大に工事を進捗せしむべきの內議ありといふ

●地方費と消防事業

各地に在る消防組に地方費を以て補助を與ふるの議起り曩に大邱日本人會の組織に係る消防組に對し補助に與へたるを嚆矢とし是より順次各道に及ぼし以て消防事業の發達を期せしむべし

●素砂學校の不認可

仁川理事廳に對し素砂驛有志者より尋常小學校設立に關する請願書を提出し來りしかば數日前渡邊理事廳屬は該地に於ける實狀調査の爲め出張せし結果時期尙早く不許可に決定せりと云ふ

●韓人市場設置期

仁川韓人市場設置に關し屢々報道する處ありしが其筋より仁川理事廳の意見を諮問し來り之に對し差支なき旨の答申を爲したる由なれば許可せらるゝの期近かるべし

取引所設立の請願

東京大江卓外數氏及當地松永省川大村關釘本中原中島梶原秋吉山口和田の十二氏發起となり三十萬圓の株式組織を以て取引所を設け定款目論見等も既に完成したれば數日中に設立認可の申請を爲すべしと云ふ

京龍合倂の進捗

京龍合倂問題は其後着々進捗中にて時に一二の混ぜ返へしを試むるものあるが如きも斯かる輩は自巳境遇の利害より打算せるもののみにして何等顧慮するに足らず益々好望を以て迎へられつゝあり一昨八日龍山經濟協會調査委員たる上野國井大和の三氏龍山側有志者として三浦理事官を訪問して其意見を叩き夫より和田議長を訪ひ各意見の交換を了へ更に今十日龍山陸軍紀念式に邂逅したる序でに兩者の有志者八景園に會合して豫備相談を爲す筈なりと

●韓國煙草の改良難

韓國產の烟草は耕作の幼稚なる種子の劣惡なる燃火氣乾燥なる等諸種の事由により品質不良大方の嗜好に適せず就ては是が改良を計るは最も切要の事なれども韓人耕作者は固より日人間に於ても改良の手續を履み品質上偶ま良質を收むるも購買者は徒らに價位の高きを嫌ひ十把一束一向折角の骨折も認め呉れざるより耕作者側も自棄の姿にて改良に力を入るゝに至らず就ては今後給需兩者間に相互意思の疎通せざる限り改良は頗る至難なるべしと云ふ

●平南地方大豆收量

平安南道各郡に於ける昨隆熙三年度の大豆の作付反數及び其收穫數量は如左

郡名	作付反別(反)	收穫數量(石)
德川	四八一〇	四三二九
順安	七〇〇〇	八二〇〇
陽德	一二九九四	五八一〇
江東	七一五二	五八七四
中和	九九〇	七九二
永柔	二六七〇	三四七〇
价川	一六一四	二六四二
順川	一五〇九〇	五七〇八
成川	六二八〇	三七六八
江西	三一八八	一五八三
祥原	六八九一	九三八〇
殷山	一一一五五	七八一〇
龍岡	八二〇三	一二三〇四
寧遠	三一一三	五四一七
孟山	七〇四七	三六九二
安州	一三三九三	一〇六三四
平壤	二八四九六	二二六四五

●民團處務規程改正

京城民團にては今回處務規程の改正を行ひ從來の五課を三課とし其分掌事務は一課を庶務學事議事土木衛生二課を稅務民籍三課を出納用度記錄と一昨八日夫れ〲課長を任命したりと云ふ

●信夫理事官と後任

信夫仁川理事官が近々歐洲の某國に轉任すべく內定せる由は既に屢耳にする所なるが其後任は暫らく之れを置かずして副理事官を以て代理せしむべく決定せるやに某當局者は語り居たり

●安命根旅順に急行

伊藤公暗殺者安重根の從兄なる安命根は安の切なる懇望により宣教師ウイルヘルムの旅順行勸誘の爲め過日來歸韓中なりしが昨九日午後二時仁川出帆の安東丸に搭乘し旅順に急行せりと

●統監府員提灯行列

今十日の陸軍紀念日を祝する爲め倭城俱樂部員發起の下に提灯行列を行ふに付き統監府職員一同は是れに贊同し十日午後七時同俱樂部に集合し市中を一巡する由なるが定めて盛況なるべし

●仁川民會豫算附議

仁川居留民團四十三年度歲入出豫算案其他重要案件を附議せんが爲め九日午後七時より民會を開けり詳細は次號に

●荻田書記官倫敦着

日英博覽會事務、殖民制度調査の爲め歐米派遣中の荻田統監府書記官は八日倫敦に安着せし旨電報ありたりと

●英領事館員の榮轉

在京城英國總領事館一等補助員イーチホーム氏は今回大坂駐在同國副領事に榮轉し不日該地へ向け出發の筈

●黑澤判事の入京

新義州裁判所判事黑澤休四郎氏は八日入京不知火投宿

●前田社長の入京

恒產會社長前田祐次郞氏は八日入京不知火旅館に投宿

●內源藏氏の入京

陸軍步兵中尉の同氏は八日入京し九州旅館に投宿せり

▲治外法權▼

九日發行の京城日報に大久保軍司令官の韓國暴徒觀が揭て居る、大將曰く「過般京義線を襲ひし李鎭龍及び韓貞萬と稱するもの僅々五十餘名の部下を率ひ黃海道に出沒するもの僅かに暴徒の臭味を有すれども所謂烏合の衆にて何等軍隊的節操規律あるものにあらず云々」成程軍隊の目から觀たら五十位の草賊は何んでもなからふが百姓や商人乃至は郵便脚夫等の旅行に取つては由々しき大敵である、それに軍隊的規律でもあつた事ならそれこそ大變だ▲大將又曰く「世上往々之等の草賊を以て暴徒と稱し其暴害を誇大に傳ふるは韓內地の事情に暗き爲めとは云へ余の遺憾に思ふ處なり過般京義線に於ける襲來の如きも新聞の報道は稍々過大なり(中略)宜しく憲兵巡査の力に信賴して可なり云々」幾萬の敵を屠りて事ともせぬ將軍の目には或はそうれ吾人の報導が過大なりしならん、併し吾人京城に住む者は決して匪徒抔には恐れはせぬ京義線の列車が轉覆しようが、京釜線の停車場が燒かれようが、屁とも思はぬ、けれども地方に居留せる少數の邦人に取つては實に大變である、一人の命に於ては一人の命も貴重である▲當局者は成る可く暴徒の被害を少なく言はふとするが一体之れが吾人の腑に落ちぬ無事を裝ふて深入さして殺さしむるより豫め警戒して害を蒙らしめざるが肝要ではあるまいか、算盤珠と、鐵砲の彈とは一所にはせられぬ▲憲兵や巡査の力元より信賴するに足るも、二三日前の大朝の京城電報には憲兵が京義線襲來の暴徒と戰鬪中銃器に故障を生じて應援を得ん爲め一時退却した、暴徒は應援隊を拒止せん爲め列車の轉覆を謀つたとある之れ等が事實とすれば實に險吞千萬である▲序に讀者に云ふて置くのは此間の各新聞暴徒記事は何れも其筋から示した公報であつて手製でない事である▲近來世上の不景氣から夜拔けをする者が多い、仁川にも龍山にも京城にも頻々たる有樣だ、處が龍山の夜拔けだけは物を攫らへて逃げるさうで、コイツは隨分虫の好い話だ。

戰死卒の生還

▽第六師團の輜重輸卒
▽支那人に化し歸還す

▲今は七年の昔 日露大戰役の當時名誉の戰死を遂げ長くも九段招魂社に合祀の恩典に浴し英名を後昆に傳へしもの其幾千を知らざるが中に▲服部幾松（二）と呼べる一人あり此者宮崎縣宮崎郡住吉村出身にして卅七年二月開戰と共に輜重輸卒として熊本第六師團に召集され同年四月中旬佐世保より御用船に乘じ韓國に上陸し[illegible]流石の幾松も遂に勤務に堪ずる能はず[illegible]隊を脫して▲北方の山中に分け入り行衛を晦ましたれば其筋にては戰死として手續をなしたり、然るに幾松は脫隊後は何方へ[illegible]近邊に村落らしきものも無ければ何方に頼るべきとも無く[illegible]▲裁縫用の糸に針をつけ釣を試みたるに運よく小魚を釣り獲たるより之れ屈竟と[illegible]河に沿ふて進むうち或る村落に[illegible]▲地中に六尺の穴を穿ちて此處を隱家と定め[illegible]生活を營み何時か三年の月日を過ごしたるに土地の支那人王と云ふが何かと氣の毒がりて幾松を我家に引取り[illegible]本年一月二十二日草河口より[illegible]一人の憲兵此邊に[illegible]▲日本兵の姿を髣髴して[illegible]漸く王の家を突き止めて[illegible]王も遂に包み切れずして全く日本人に相違なしと幾松を引渡したれば翌二十三日同地出發して本館憲兵分遣所に[illegible]目下取調中の由なるが幾松は穴居の際軍隊の夏服に夏帽を頂きゐたる[illegible]も王に引取られて後は▲髮も服も支那風に換へて打見たる所如何にても支那人とよりは[illegible]衣は頗ふる粗服にして[illegible]一粒の飯を食まず風呂の如きも[illegible]なければ其の不潔なること[illegible]なりしが流石に支那人の情に厚く[illegible]の當時なども家內一同[illegible]悲み中にも數名の若者[illegible]送りて下馬塘へ赴きたりとは[illegible]らしき話といふべし

賊魁遂に殪る

▽彈丸五百發を鹵獲す

警察隊の騎兵討伐隊は七日午後十時黄海道海州郡大德面に於て同黨暴徒首魁池寛石（一名池寛植）の引率せる九名の賊團と衝突し終に池首魁外三名を[illegible]劍一彈丸五百發を鹵獲し[illegible]て海州郡に於て首魁[illegible]黨の名望を集中し居り[illegible]の群に投じ遂に吾が[illegible]されしを無念に[illegible]しを爲さんと郷里の[illegible]部下とし異打の暴徒[illegible]めに韓人一名を慘殺[illegible]き燃らし何人とも判[illegible]めて逃走せり夫れよ[illegible]去月翠野場を襲ひ巡[illegible]或は清國人を虐殺[illegible]るも總て彼なしが[illegible]海州郡を本據として巨[illegible]し更に一方排日派と[illegible]携へ居りたる武器の如[illegible]に爲すあらんとせしも[illegible]新式銃にして彈丸の[illegible]上を準備し一人百發內[illegible]居るに見るも決して尋[illegible]非らず必らず其背後に[illegible]何者か潜み居るや疑なかるべし[illegible]く迄其根底を屠るべしと云ふ

揚げあり、因に當日馬車、車は軍司令官々邸表門に廻す事と

陸軍紀念日

本月十日は奉天陥落の陸軍紀念日にて龍山軍司令部內にて例年の如く龍山軍司令部に於て紀念の祝典擧行順序は

午前十時　祝典開始
同　十一時三十分　餘興開始
午後一時　食堂開始（第一爆竹）
同　二時　模擬店開始
同　[illegible]　婦人入場（第二爆竹）
同　[illegible]　一般入場（第三爆竹）
午後五時　散會

餘興としては角力、芝居、撃劍、藝者踊、二〇加等にして此の間絶へず奏樂、煙火の打上

●守備隊猛虎を射殺す

▽眠れる處を一齊射擊

去る三日全南靈岩邑內市場側なる竹籔中に一頭の猛虎眠りて臥し居るに韓人某之を發見して急ぎ守備隊に通報したるより守備隊にては這は面白しと十餘名の兵卒彈丸を込めたる銃を荷にして現場に赴きたる所猛虎は尙も前後不覺に眠り居る有樣なるにぞ兵卒等覘ひを定めてズドンと計り一齊射擊を行ひたる所虎は形相凄じく猛然と立ち上り飛びかゝらんとするより一同更に第二回の一齊射擊を行ひて茲に難無く捕へ得たる由右の虎は六尺の餘にも達すべく惟ふに夜半餌を漁りに來り半途歸期を失して竹籔中に潜り込みたるまゝ一命を奪はるゝに至りしものならんと云ふ

三面詠歌

▽春が來た〳〵朝鮮の春が
　梅も櫻もない春が
▽吾作嬉しや今年は孫に
　十文三分の足袋買ふた
▽電信柱で何考へる
　小雨降るのに濡れ燕
▽傳り聞きたい江戸の春の
　花の吹雪に舞ふ蝶の
▽韓國土産にや何上げましよか
　暴徒饅頭の二つ三つ

●匪徒に內通する面長

▽我が官憲の行動を探り

平南揚州郡古州面長趙進士は平素排日思想を有し飽迄も新政に妨害をなしつゝある者なるが同人は匪徒と通じ同面內の韓人中銃器所持者あるときは之を匪徒に密告し匪徒をして掠奪せしめ彼等の便を計り又同方面に於ける憲兵警察官等の行動を探りて之を匪徒に通じ常に機を逸せしむることあり或は匪徒の令を人民に傳へ里民より軍用金と稱し集めたる金員を匪徒と折半し居る由にて其筋に於ては專ら嚴探中なりと

●猩紅熱發生

佐賀縣生れ當時本町二丁目裏二十一番戶平民看護婦生田たき（十八）は去る六日發病七日診斷の結果猩紅熱と診定されて大韓醫院へ送る

●本願寺の追吊會

明十一日は例年の通り當地本願寺別院にて陸軍紀念追吊會修行ある由なれば有志の諸氏は續々御參詣あるべし但し時間は午後二時よりなりと

●書畫展覽會開催

來る十三日午前十時より南大門通廣通館（天一銀行樓上）に於て日韓書畫展覽會開催の筈なるが其の出品物の種類は古文書、古畫狀、古書畫、古器物、珍書籍、摺本、古印譜、古印其他にて出品者は非常に多くして當日は定めし盛會なるべし因に入場料は一名五十錢にして何人と雖も入場する事を得と

●新町の健康診斷

同廓一昨日の健康診斷の結果は入院五名、自宅治療入名、休業診斷五名就業診斷十名なりし

●一昨日の新町

新町遊廓一昨日の登樓客は百〇五名にして其の消費額四百〇五圓五十九錢なり

●仁川花柳だより

敷島遊廓に於ては從來の黑門外に二箇所の裏門を設置されしかば忍ぶの客には求めてもなき好都合と存候▲其れかあらぬか近頃は〇〇局及韓國銀行員等は盛に之れが廓に出入してあらぬ浮名を歌はれ居候何れ其入込みたる事情は弗々御報可致候▲元常盤樓の尤物花扇拍子は移り變る浮世の波に漂ひし揚句の果ては今や大君の仲居として愛嬌を賣り居り候が昔の面影は何處にか尋ぬべき（鳥）

目と耳

▲壽座　同座本晩の千秋樂としては『貴族之秘密』の通し者にして其の重なる役割は次の如くにして明十一日よりは曾我野家の喜劇開演

令孃千枝子（原島）侍女れ榮（二宮）大工吉五郎（本田）妾君枝（高井）家扶本園（村尾）春山義安（小泉）家令山口（菊地）瑕瑾れ京（島津）夫人政子（敷島）車夫吾介（日比野）園部義明（佐々木）

▲仁川歌舞技座　伊東文夫一座は愈々來る十一日仁川に乘込み同夜俳優一同は白虎隊の扮裝の提灯行列を爲し以て之れを町廻りに代へ翌十二日午後より小學校生徒を招待して『れ御劇』（兒島高德及浮れ胡弓）を演じ同日午後七時より華々しく開演する筈なるが藝題は白虎隊三場人肉質入裁判三場奇劇改正蓄音器三場なりと云ふ

夢一夜

何でも眞ッ白の雪の夜路だつた、私が炬燵の裡で小說渉りを爲て居る處へ、片手に蠟燭を持つた美くしい女がつか〳〵遣つて來て『此方へれ出なさい』と私の手を握つて引き立てる。『貴女は？』と訊せば『誰れでも宜しい一緒にれ出なさい』と殆んど命令的だ。私は何だか狐狸の類に誑かされでもする樣な心持がして一向氣は進まなんだが『サ、サ』と急き立てられる度每に不思議に腰が浮上つて遂々夢心地で戶外へ連れ出された。

見渡す限り白銀を展べた樣な雪の夜、風が出て雪は歇んだらしいが風足の早い雲が畑の上をひゆう〳〵飛んで往く月はなうて星許りが閃々光つて居つた、聽て女は袂から今一つの蠟燭を取り出して夫れにも點火して『サ、是れを持つて妾の跡から來るのです』と云ひ放して自分はずん〳〵勝手に步き出す。私には元より續いて往く意思なぞは毛頭ないのだが丁度鎖に繫がれた熊の樣に自然と足が前に出るから詮方がない女は時々後ろの私を振り返つては莞爾と笑ふ、其の美くしさと云つたらないが美くしいと思ふ刹那に慄然して脊から冷汗が落る。

辿つて居るのは一面眼に遮る者もない野原である、と、女は立ち止まつた、『彼の川を渡れば最う其處ですよ』と云ふ、成程氣は注かなんだが十間許の往く方に當つて一條の流れがある『何が其處ですか』と尋くと『今に解りま す』と答ねて私の手を犇と握つた、私の体中の血は一時に湧き上る。其儘女は岸邊に連れ立つたが針を突き刺す樣な聲で『れーい』と叫ぶと何處から共なく一艘の小船が現れた、頭に一本の毛もない滑々坊主の船頭が『れ乘んなさい』と氣味の惡い程少さな聲で云ふと女は首肯いて船に移る、二間三間河の中流位に臨つた頃女は握つて居た私の手首に一際力を籠めて『痛いですか』と云ふ『否』と返すと『感心だわね』と私の首に蘭の香の高い小袖の袂を巻き附けて眦平と自分の腕の下に抱き込む私は半分夢中だつたが船の舳が岸に突き當つた拍子に漸く我に返つた『最う來ましたよ』と女はいそ〳〵先に立つて不相變後を見返り〳〵往くのであつたが、物の二町餘りも來たと思う頃立ち止まつて『サ此處です蠟燭をれ出しなさい』と私の手にある蠟燭を取つて私にも座らせ自分も列んで座りながら二本の蠟燭を二人の前に一本宛立てゝ懷中から經文の樣な者を取出した『サ此れを讀むんです』『何時迄』『蠟燭の火の消ゆる迄』女の蠟燭は既に半分程消耗して居るが私の蠟燭はまだ點した時其儘である、あゝ此の蠟燭が何時消耗て了ふだらうかと私は其の事許りを念じながら一心に經文を讀で居た。（下）

●臨時休刊

今十日は陸軍紀念日に付き祝意を表する爲め臨時休業したれば從つて明十一日の本紙は發刊せず

▲平民文庫▼

▲本町六丁目邊に何んとか云ふ餅屋がある其家の主人は寡婦である餅屋の內儀さんだつても寡婦にならぬと云ふ法度はないのだから差支へはない▲其の差し支へのない寡婦どの亭主、死別れた當時が程は食ひ置きもしてあつたことゝて神妙にして御座つたが何が借生き物の事とて少し位ゐの食ひ置きでソクソウ長くは辛抱の出來る譯のもので無い饑じさの餘り旭町の〇〇軒とやらの親爺を摘んだ▲ホンの一口の心算で摘んだのであるが嚙み占めた所に云ふに云はれぬ味があつたと見へ夫れからと云ふものは運動場の芝生の如、メもハナもあつたものでない▲其の證據には親爺の弟を自分の娘の聟とした位であつても明かである（鳳聞子）▲燒くな〳〵（小僧）▲妙子さんドシ〳〵通信して下さい、ダガ姦通とか何んとかで判然しないのでなく可成罪のない所を（▲▲係）▲北米倉町の岡の家の亭主は先般來肺病に罹り入院治療中だが到底全治まいとのことだ此れと云ふも餘り酌婦を苛酷た爲だらうと太平湯での噂（男湯の人）▲中の新地の常盤樓の三ケ月と異名を取つたるれくにと云ふ妻腡の酌婦どんは先頃例の病氣で〇田病院に入院したが娼賣柄每夜每晩阿呆者どトチ狂つて居たのが急に淋しい病院住居の徒然に堪ね兼ねたと見ね或る夜突然姿を隱したるより病院では抱ね主の方へ通知して共々血眼になつて行衛を捜索したが皆くれ所在は知れない此の上は警察の手を煩はす外はないと評議一決した所へ『吉野町の關さん所へ一寸御見舞に行つて來たの』と斗り平氣の平左で戻つて來た斗ゝか其の言ひ草が憎らしい『浮世の義理は辛いのね』と暢氣な病人もあつた者かなと近所での評判（地廻り）

吉凶

本町五丁目　三一館判斷

三月十日舊正月廿八日五黃佛滅甲戌危
△一白　不利の日なり新事見合の事金錢取引貸借の事徒勞に歸し易し△二黑　婚姻共同組合事吉其他平凡とす△三碧　間違多き日なり賣買貸借には尤も注意すべし遺失盜難防ぐべし△四綠　不得要領の日なり新事見合の事尙旅行轉移相談見込なし△五黃　破却の日とす謹愼投機射倖的行動を戒しむ△六白　快欣の日なり大概吉但し家庭內に小煩累あらん△七赤　進捗の日なり仕官就職入學門披露吉根據印章の事注意を要す△八白　猜疑機を失するあり自負交際上の破れあり其外平凡△九紫　家庭近親のため出捐若くは勞苦あり其他靖事

●天氣豫報（自九日午後六時至十日午後六時）

西の風晴

八日（華氏）　最高溫度　四一、九　最低溫度　二二、五

第十一號　公告

一金二十圓也　行旅病者收容費へ

右は皆川成司殿より令夫人死去に際し知人より寄贈せられたる香料の返禮に代へ當民團行旅病者收容費へ寄附相成候條此段公告す

明治四十三年三月九日
京城居留民團民長　古城管堂

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●頃上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし俸給望まず 氏名在社(八)

●店員雇入 十四五歳の者希望者來談されたし 日の出町下山商行（電一〇〇七）

●小供入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店（電三四三）

●就職度 三十四歳貨物取扱及通譯手續に經驗あり多少英語を解す會社又は諸官衙を望む 氏名在社（一〇）

物件部

●電話譲渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●貸家 平家一戸建間數四間及長家一戸間數三間場所南大門外吉野町

●売貸平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名在社

●植木商譲渡 日韓未使用紀念絵葉書安價譲渡たし 氏名在社（九）

廣告

入院隨意
內科 小兒科 眼科
原醫院
龍山新市街山手町

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

●●●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●
馬車配達 純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

入院隨意
內科 外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話（二一六）
院長陸軍軍醫正 高井貞治

◉筑前琵琶教授◉
京城旭町四丁目一番地 本部 月友會指南 鶴崎賢定
龍山本町二丁目廿二番地 月友會支部教授 東司照子

[illegible] 牛乳 [illegible] 牧場

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京ランバーメ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山盧隆合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話三〇二番）
出張所 [illegible]

諸荒物世帯道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
日用雑貨 御問屋 西崎嘉七本店
京城本町六丁目 電話二一〇 電略（ニカ） 振替貯金口座韓七番

◉移轉
太平町二 大漢門前角 元パラスホテル跡
蘆澤商會京城支店
◎洋家具裝飾品專門 電話一二二五

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉 電話千四百十一番

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

神戸賓生分院
京城梅毒病院
◎花柳病專門並、痔（注射療法）
●入院隨意●
京城和生町（南門湯横） （電話一二九四）
院長 醫學得業士 廣田[illegible]

韓國金屬商元祖
和洋金物商 藤本藤次郎 本店
舶來品は直輸入 日本製品は産地特約
京城本町五丁目
新案特許品數種着荷 破天荒の大勉強
長電話四五番 電信略號（ク） 振替貯金口座第一三四二二番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計御商 喜多金光堂本店 仁川本町三丁目 電話七五〇番
時計御小賣 喜多金光堂支店 京城本町二丁目 電話千十五番

京城南山町（元日本人倶樂部跡）
京城ホテル
長電話一二三番 電話四九二番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館（電話一一一五番）

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前）
電話三五四番

韓國銀行
電話（長）三三一 本店用 [illegible] 當直用 用度係 來客用 臨時建築部
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、成興、城津、義州、安東縣
爲替取引先 東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山（以上日本）、釜山、公州、光州、晋州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、龍州（以上韓國）、大連（淸國）
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店（電話二五一番）
自製
和洋酒、國精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雑貨、ビール、米糀、鰹節、壜辛、日本食鹽各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る）
待合 醉月 電話二六五番

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋 唐川商店 電話二六一番

蒸氣消毒 牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話[illegible]

京城鐘路の喰物は何んたろー
裁判所前の洋食店 鐘路軒の
松茸めし
酒一本 外和洋料理五品付 一人前六十錢
價が安くてうまくてはらにたまるよ皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる極く便利ですよ
電話壹四二九番 客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

★株式會社百三十銀行韓國京城支店
京城本町二丁目十五番地 電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高岡
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、綱干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、普通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、松山、三津ケ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、門司、久留米、若津、中津、小倉、大分、行橋、後藤寺、佐伯、別府、熊本、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

株式會社 十八銀行京城支店
京城南大門通 （電話四二〇）
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申す（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）